

第 4 回 函館市医療・介護連携推進多職種研修会（案）

日 時：平成 30 年 10 月 20 日（土）14：00～17：00

場 所：国際ホテル 2 階 天平

対象者：医療・介護関係者、定員 360 名（最大 GW 240 名＋聴講席 120 名）

※昨年度の参加者推薦依頼数と実際に参加した人数をもとに今年度も協議会参加団体に依頼する
（別紙：参加とりまとめ状況参照）

↓

各団体の状況に合わせて人数等の確認をして参集依頼する（別紙：参加者推薦依頼等）

GW 参加者～協議会参加団体からの推薦で構成する

聴講のみ～協議会参加団体から 1 団体あたり 5 名づつ＋他団体からの参集（センターに一任）

懇親会：国際ホテル（会費制 3500 円程度，17：30～19：00）

テーマ：「地域での看取りを知る～その現状とこれから～」

- 目 的：①看取りに関する国や函館市の動向を知る
②シンポジウムによるそれぞれの場所における看取りの現状と課題を知る
③グループワークによる相互理解の促進
④研修会後の懇親会の開催

構 成：シンポジウム、グループワーク、発表（意見交換）

※別紙：タイムテーブル参照

○シンポジウム（座長：川口先生）

①看取りに関して国・函館市の動向 (5 分間)

道南勤医協函館稜北病院

副院長 川口 篤也先生

②施設医 (20 分間)

社会福祉法人函館厚生院介護老人保健施設ケンゆのかわ

施設長 老松 寛先生

③在宅医 (20 分間)

医療法人守一会北美原クリニック

理事長 岡田 晋吾先生

④病院医 (20 分間)

医療法人敬仁会函館おしま病院

院長 福徳 雅章先生

○グループワーク：多職種で実施。30 テーブル（8人）

（55 分間）

<テーマ>

- ・今までの経験をふまえてのシンポジウムの感想
- ・シンポジストに確認したいこと

<進め方>

- ・グループワーク説明（5分）
- ・個人ワーク（5分）
- ・個人ワーク用のメモ用紙準備してテーマにそった内容を記載してもらう
- ・各グループで司会・書記・発表者を決めて自己紹介等実施してもらう
- ・司会の進行のもと個人ワークの内容を発表，メモ用紙を模造紙に貼り付けながら意見交換，共有をはかる
- ・書記は意見交換した内容を模造紙に記載していく。同じような内容があればまとめていく。
- ・ファシリテーターからの助言のもと進める

※川口先生，ファシリテーターはテーブルを廻り，発表グループを選定する

<必要物品>

- ・個人ワーク用メモ用紙（人数分），模造紙（各テーブル1枚），ボールペン（人数分），マジック（各テーブル1本），セロハンテープ（各テーブル1つ）

○意見交換会

（25 分間）

※座長（川口先生）

- ・各グループからシンポジストへ確認したいこと（GW発表～3G程度）
- ・発表はテーブルで行う
- ・講師と会場参加者との意見交換

<総評>

（15 分間）

- ・各先生方（講師3名，座長）から総評いただく

※意見交換会と総評の時間配分は川口先生にお任せする

役割分担：※開会・閉会の挨拶はそれぞれ医師会長・副会長に依頼予定

総合司会～寺田部会長

事務連絡～齋藤メンバー

懇親会司会～水越副部会長

シンポジウム座長～川口先生

受け付け～センター職員，医師会病院職員

ファシリテーター～多職種研修作業部会メンバー

会場案内～センター職員，医師会病院職員

会場準備～センター職員，医師会病院職員

マイク・PC等～センター職員

今後の予定

- | | |
|-------|------------------------------|
| 8/8 | コア会議 |
| 8/9～ | 研修部会メンバーへの発信，各団体へ参加依頼人数確認 |
| 8/13～ | 各団長宛てに参加者推薦依頼の発送，案内文の発送 |
| 9/3 | 第8回研修作業部会 |
| 9/20 | 参加申し込み締め切り |
| 9/下旬 | 座長，シンポジスト打ち合わせ（シンポジスト依頼文書提出） |
| 10/上旬 | 資料等準備開始，ファシリテーター打ち合わせ |